

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	旧第二学校給食センター他建物解体事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	解体工事及び排水整備工事完了後の家屋事後調査について、意向調査を行い進める。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	なし
②①に基づく取り組み結果	家屋事後調査について、意向調査を行い、家屋調査を実施した箇所の物件補償に関して交渉が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	旧第二学校給食センター他	意図(対象をどうするのか)	既存施設の解体を行う。
②事務事業の概要	旧第二学校給食センター及び旧トレーニングセンターの跡地について、浸水対策として、排水路を整備する為、建物を解体する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市街地で周辺住宅が近接していることから、振動、騒音、粉じんなどの影響を最小限に抑え工事を行う必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	周辺住民へ騒音や振動などを配慮しながら工事を完了させた。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 改修割合	31	92	100	% 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	109,507	6,454	金額(千円)	内容	0
国支出金(千円)			4,101	調査設計費	
県支出金(千円)			97	工事関係費	
市債その他(千円)	98,200	5,500	2,256	補償費	
一般財源(千円)	11,307	954			

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	解体工事後の家屋の事後調査を行い、物件補償について地権者と交渉する。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	解体後の事後調査と物件補償について完了したため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	解体工事後の家屋事後調査を実施し、損害補償を行う。	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	家屋事後調査を実施し、物件補償交渉を完了した。	0	13,552	当初	13,455	6,454	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	6,454
④未完了・非着手の理由		令和2年度への繰越額(単位:千円)		流用・充当	97			0

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎改修等事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	なし	③令和2年度に取組む改革・改善内容	工事中における騒音や振動など来庁市民に支障とならないよう、関係部署との綿密な調整を図りながら、工事を進めていく。
②①に基づく取組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	空調、非常用発電機の改修により、庁舎を適正な管理を行えるようにする。
②事務事業の概要	市庁舎空調設備、非常用発電設備の老朽化に伴い、改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	空調設備改修工事については、関係部署と調整を図り、工事発注のための設計書を完成させた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	改修割合			3	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	0	10,113	金額(千円)		内容	287,784	
国支出金(千円)			10,113		調査設計費		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)		7,900				251,400	
一般財源(千円)		2,213				36,384	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市庁舎の通常業務を行いながら、業務に支障無いように工事を進める必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	関係部署と調整を図った結果、工事が適正に着手できるか確認するため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	改修工事に係る設計業務を実施する	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	空調設備改修工事に係る設計業務を実施した	0	17,630	当初	12,320	12,320	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0		現年分	12,320
③達成状況	未完了			補正	7,667			
④未完了・非着手の理由	非常用発電設備の改修工事に係る設計業務が未完了の為			流用・充当	-2,357			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)				3,725		

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	庁用車更新事業	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	なし	③令和2年度に取組む改革・改善内容	使用年数や走行距離だけではなく、修理状況等も勘案しながら更新車両を決定していく必要がある。
②①に基づく取組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁用車	意図(対象をどうするのか)	老朽化した車両の入れ替えにより、効率的で安全な庁用車の管理を行う。
②事務事業の概要	庁用車の老朽化に伴い、使用年数の長いものや修理の多い5台について更新するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	庁用車は日々の業務において重要な移動手段となっていることから、適正な管理を行い、安全に利用できる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	老朽化が進んだ車両について、更新を行った。					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 更新台数			5	台	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	0	5,384	金額(千円)	内容	6,339	
国支出金(千円)			5,384	庁用車購入費		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)		5,384			6,339	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	使用年数や走行距離等を勘案し、的確に更新車両を決定して行く必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	庁用車の更新基準に照らし合わせながら、更新車両が適正か確認するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	庁用車を5台更新する。	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	庁用車を5台更新できた。	0	5,707	当初	7,046	5,384	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0		現年分	5,384
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,339			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)					0	